

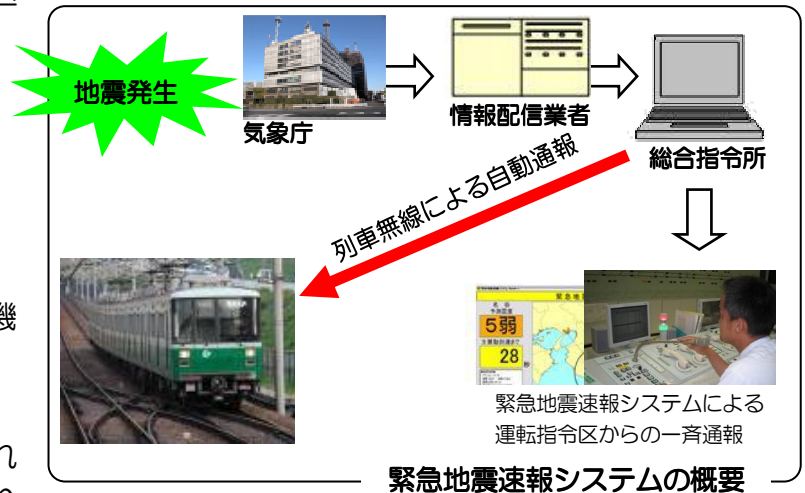
## 1.地震・津波発生時の対応

高速鉄道地震対策要綱や災害対策要綱、異常気象対策要綱に基づき、地震の発生や津波警報発令時における地下鉄の運行やお客様の避難誘導について定めております。

### (1)地震発生時

緊急地震速報システムにより、震度4以上の地震予測速報が認められたときは、各列車の無線装置に地震予測速報が自動送信され、速やかに以下の対応を行います。

- ・ 走行中の列車は直ちに速度を25 km以下に減速し、次の駅まで走行
- ・ 駅出発中の列車は速やかに停止
- ・ 停車中の列車はそのまま駅で待機



### (2)津波警報発令時

津波警報が発令され、浸水の恐れがある場合、運転指令の指示により全線または区間を定めて列車の運転の一時中止を行うとともに、駅構内への浸水防止対策として、止水板及び止水鉄扉（防潮扉）を設置します。



止水板



止水鉄扉

### (3)お客様の避難誘導

地震・津波発生時は、運転指令の指示により、駅係員がお客様の避難誘導を迅速に行います。また、津波発生時の避難所の案内については、津波避難所の建物等が決まり次第、順次、各駅の出入口に「避難所案内用ピクトグラム」を掲出します。

## 2.津波警報発令訓練の実施

- (1)日 時 平成 23 年 10 月 21 日深夜
- (2)場 所 海岸線和田岬駅
- (3)設 定 「東南海・南海地震」の発生により神戸市域で「震度5強」の強い揺れを観測した直後、市内全域で停電が発生した後、瀬戸内海沿岸に津波警報が発令された場合を想定。
- (4)内 容
  - ・ 地震発生及び津波警報発令時の初動と連絡体制の確認
  - ・ 駅構内及び駅間停止列車（中央市場前駅と和田岬駅間）の乗客の避難誘導
  - ・ 和田岬駅の止水鉄扉の閉鎖  
想定時間内（津波到達 30 分前）に、お客様の導及び止水鉄扉の閉鎖を完了、係員の避難も確認。

現在、地域津波防災計画の改定作業をすすめているところであり、関係部局と連携しながら、引き続き、地震・津波等の災害に対応してまいります。